

会 見 日 2013/08/30
タイトル 富士山世界遺産センター（仮称）建設地の選定
担 当 文化・観光部 文化学術局世界遺産推進課
連 絡 先 企画班
TEL 054-221-3746



富士山世界遺産センター（仮称）の建設地を選定しました。

（要旨）

富士山世界遺産センター（仮称）の建設地については、「富士山世界遺産センター（仮称）基本計画」（平成25年3月策定）で定めた建設地選定基準に基づき、富士山周辺の市町から推薦された候補地について、有識者からの意見を踏まえ評価を進めてきたが、「富士宮市宮町 せせらぎ広場周辺地」を選定した。

今後は、富士宮市の協力を得ながら、センターの整備を進めていく。

（概要）

1 選定理由

- ・当該候補地に近接する富士山本宮浅間大社は、浅間信仰の中心であり、他の信仰に関連する構成資産との関連性が高く、世界文化遺産としてのストーリー性が極めて高い場所である。
- ・村山浅間神社や、人穴富士講遺跡等、他の構成資産にも近く、当該候補地を起点として、周辺各地の構成資産への来訪が期待できる。
- ・市街地に所在し、年間を通じて自動車や鉄道等によるアクセスが確保されているなど、利便性が高い。
- ・当該候補地は、市有地のほかに民有地も含まれているが、富士宮市が民有地を買収又は借り上げた上で、市所有地とともに、県に無償で貸与していただくこととなっており、用地の確保が容易である。

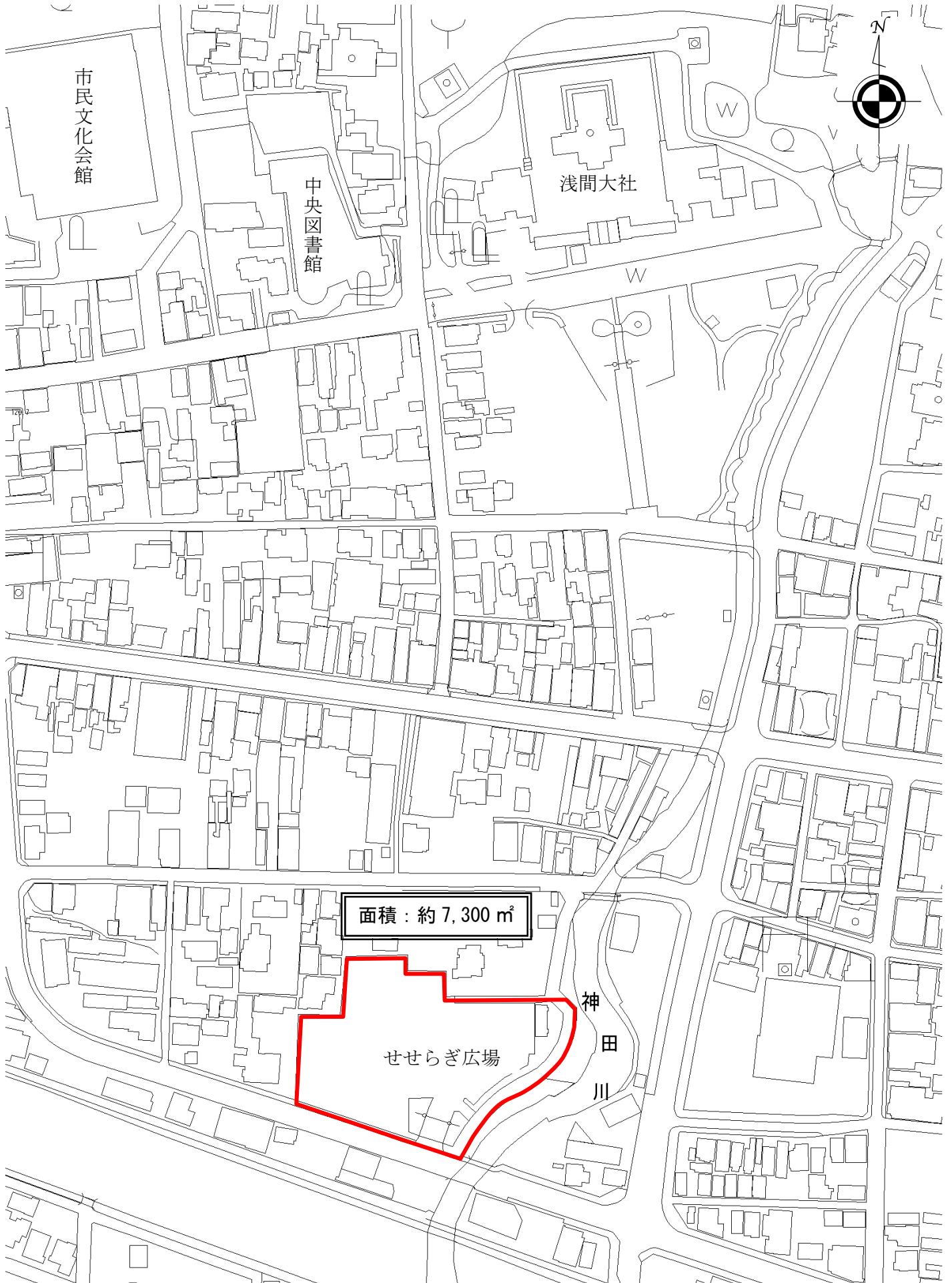
2 建設地の概況

- ・所在地：富士宮市宮町（別紙1のとおり）
- ・面積：約7,300 m²

3 有識者からの報告書の概要

別紙2のとおり

富士山世界遺産センター（仮称）建設地



有識者からの報告書の概要

1 建設地の選定について

「富士宮市宮町 せせらぎ広場周辺地」への整備が適当である。

2 選定理由

- ・ 浅間信仰の中心であることに加え、大宮・村山口登山道の起点でもある。
- ・ また、村山浅間神社をはじめとする他の信仰に関連する構成資産すべてとの関連性が高い。
- ・ 市街地に所在し、自動車及び鉄道を利用したアクセスがよく、集客を見込むことができる。

3 建設地選定に係る付帯意見

1 街づくり

富士宮市に対して、鳥居から富士山本宮浅間大社への導入路(参道)の整備や街並み景観の改善など、富士山信仰の「聖地」としてふさわしい美しい街づくりを促すこと。

2 構成資産へのアクセス

構成資産が所在する市町と連携して、センターから各構成資産へのアクセスについて、来訪者の利便性に十分留意した経路や手法を検討すること。

3 受入体制の整備

富士宮市及び関係機関と連携して、センターの来館者に加え、富士山本宮浅間大社の来訪者も含めた受入体制(渋滞対策、来訪者の導線等)の整備について、万全な対策を講じること。

4 駐車場の確保

建設地の選定は、富士宮市から提案のあった駐車場用地の確保を前提としていることから、市に対して確実な履行を促すとともに、県と市が連携して来館者の利便性を十分に考慮した導線を検討すること。

5 良好な眺望の確保

富士宮市に対して、センターからの富士山の眺望をいつまでも良好な状態で保つための自主的な取組を促すこと。